まち奥州の市景観討

取組状況は

画を作成し、景観条例 と、散居景観を維持し がこれまでの取組状況 や方針が示されている 景観計画を策定し景観 市全域を対象として市 ていくための考え方を 平成26年に奥州 市では、 景観計

いる。 画に則すよう指導して 届出を義務付け景観計 採を行う場合、事前の 条例を制定している。 上の建築物や木竹の伐 そのため一定規模以

時は景観計画に資する 限を加えやむを得ない 年以降108件であり 「エグネ」の伐採に制 届出の状況は平成26

> 保全と育成が必要と思っている。 苗木等を植えるようにしている。 居集落は、本市の特徴的な景観であり また、田園と「エグネ」を配した散

> > 公の施設の見直しの進

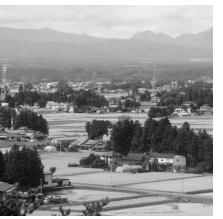
忠 議員(奥和会

散居を一望できる展望台を

渡辺

うが。 質問 展望台が市民、訪れる人々から強く要 望がある。今後新たに設置すべきと思 沢平野の伝統と農村文化を一望できる 日本三大散居集落と言われる胆

居ガイドの会の活動支援等を行ないな 周辺の松林で視界は多少せまくなって ながら観光振興の発展に結びつけてい がら胆沢扇状地の風土、文化を活用し 市の観光資源の一つであり、いさわ散 の課題と考える。いずれ、散居集落は いる。新たな展望台については、今後 現在、見分森公園の中にあるが



である胆沢扇状地



旧東水沢中学校跡地で行われる地域行事

かる予定である。

直しの進捗状況は。 質問 行革の一環である公の施設の見

平準化を図った適正配置を進める。公 要の変化を踏まえ、更新や統廃合、長 画も本年度策定する。 あり方を定めた公共施設等総合管理計 共施設白書を基に施設の管理、 寿命化に取り組み、財政負担の軽減と) 人口減少等による公共施設の需 保存の

旧東中跡地の売却は

合は。 旧東中の民間売却の取り組みの進み具 公の施設の見直しの一つである

興会に民間売却の方向性を説明。 民間売却へのご理解を頂いているとい 運動場の継続利用を希望しており 昨年度、 本年度と2回、 地 地元 元振

> もちろん、長期的視点に立った売却後 意見を聞きながら、代替施設の検討 う状況にはない。 地の有効活用などの市場調査に取りか していく。まずは、官民連携による土 のまちづくりの青写真をしっかりと示 今後は当然、 地 元

財政計画見直し必要では

いか。 の長期財政見通しを見直すべきではな 次期総合計画策定と合わせ現 在

緊急度などを総合的に判断し財政見通 画との整合性を図るため改めて見直 こととしている。市の財政力に見合っ い財政計画を見直したものの、 しを見直す。 た新規事業や施設の長寿命化の必要度 昨年度、新市建設計画延長に伴 総合計

